

# オオアカウキクサ

*Azolla japonica* (Franch. et Sav.) Franch. et Sav. ex Nakai  
サンショウモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

## 選定理由

以前は湿田や池等に多く生育していた。湿田の乾田化や除草剤の利用によって、急激に減少し、山に近い池や水田に残るのみとなった。

## 分布

全国分布は本州～九州。県内分布は若狭町、小浜市、敦賀市、越前市、福井市、池田町、大野市。

## 種の特徴

水に浮く常緑性のシダで、根に根毛はなく、茎は羽状に分岐する。葉は互生し瓦状に密に付く。大きさは2mm前後。

## 生育を脅かす要因

土地改良、除草剤の利用。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1987)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○			○			○			○	○	○

# サンショウモ

*Salvinia natans* (L.) All.  
サンショウモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

以前は池や水田に多く生育していたが、水田の乾田化と除草剤の使用によって急激に減少して、現在は大変少なくなっている。

## 分布

全国分布は本州～九州の低地の水田。県内分布は敦賀市、小浜市、おおい町、越前町、越前市、福井市。

## 種の特徴

一年生の水草で水面に浮いている。葉は茎から輪生し、2枚は浮葉になる。ほかの1枚は水中葉となる。浮葉は長卵形で茎に対生する。葉の表面には、短い突起がある。ほかの1枚は根のような水中葉となる。胞子のうは水中葉の基部に付く。

## 生育を脅かす要因

水田の乾田化、除草剤の使用。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1987)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○	○	○		○			○	○	○	○	○	○

# ヒメムカゴシダ

*Monachosorum arakii* Tagawa  
コバノイシカグマ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

## 選定理由

県内で知られている確認地は1か所のみで、稀産種である。森林伐採や林道の拡張が進むと生育条件が悪くなり絶滅する可能性がある。

## 分布

全国分布は本州～九州。県内分布はおおい町。

## 種の特徴

常緑性で、葉柄は約60cmで、葉身は三角状で3回羽状複葉、中～上部に芽ができる。羽片は広披針形、先は尾状に伸びる。胞子のう群は小羽片の縁に付き、包膜はない。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1979)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															